



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 エスピー食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ財經管理室室長 (氏名) 山崎 崇弘

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	73,672	2.1	3,960	5.0	3,957	6.7	2,870	17.3
30年3月期第2四半期	72,158	4.3	3,771	23.3	3,708	26.4	2,447	54.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 3,092百万円 (9.3%) 30年3月期第2四半期 2,829百万円 (95.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	451.94	
30年3月期第2四半期	385.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	111,823	43,109	38.6
30年3月期	103,045	40,272	39.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 43,109百万円 30年3月期 40,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		40.00		40.00	80.00
31年3月期		40.00			
31年3月期(予想)				20.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、本日付(平成30年10月31日)にて公表いたしました「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、平成30年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。

これに伴い、平成31年3月期(予想)の期末配当金は、当該株式分割の影響を考慮して記載しておりますが、1株当たり配当金に実質的な変更はございません。また、年間配当金の合計については単純合計ができないため、「-」としております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,500	1.5	6,600	3.3	6,500	5.0	3,900	0.3	307.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、本日付(平成30年10月31日)にて公表いたしました「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、平成30年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。

これに伴い、平成31年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,977,117 株	30年3月期	6,977,117 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	626,808 株	30年3月期	626,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,350,387 株	30年3月期2Q	6,350,930 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、本日付(平成30年10月31日)にて公表いたしました「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、平成30年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。これに伴い、平成31年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、将来への不安を背景としたお客様の節約志向が根強いなかで、消費行動の多様化や市場構造の変化への対応が求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での製品施策や、これを実現するための生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となったマーケティング活動を進めて行くことにより売上高と収益の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業におきましては、香辛調味料グループが伸長いたしますとともに、主力製品を中心に堅調に推移いたしました。また、調理済食品も伸長いたしましたことから、前年同期比15億13百万円増の736億72百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面では、売上高が増加したこと、また引き続き原価低減に努めたことなどから、営業利益は前年同期比1億89百万円増の39億60百万円（同5.0%増）、経常利益は前年同期比2億49百万円増の39億57百万円（同6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億22百万円増の28億70百万円（同17.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比10億95百万円増の633億52百万円（同1.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比2億92百万円増の40億70百万円（同7.7%増）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比4億18百万円増の103億20百万円（同4.2%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は1億31百万円（前年同期はセグメント損失28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して87億77百万円増加し、1,118億23百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加30億53百万円、売上債権の増加30億29百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して59億40百万円増加し、687億13百万円となりました。これは主に、借入金の増加44億92百万円、債務保証損失引当金の増加8億70百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して28億37百万円増加し、431億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加26億20百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は38.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、調理済食品の業績動向や、今後の原材料価格の状況など不透明な要因がありますものの、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成30年5月11日に発表いたしました平成31年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,704	21,758
受取手形及び売掛金	25,063	28,093
商品及び製品	5,987	5,832
仕掛品	2,193	2,081
原材料及び貯蔵品	5,420	5,675
その他	638	686
貸倒引当金	△362	△0
流動資産合計	57,644	64,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	11,992	12,148
機械装置及び運搬具 (純額)	6,987	7,455
土地	8,840	8,833
その他 (純額)	2,767	3,452
有形固定資産合計	30,587	31,889
無形固定資産	691	765
投資その他の資産		
投資有価証券	7,783	7,954
固定化営業債権	3,837	3,837
その他	6,657	6,661
貸倒引当金	△4,156	△3,412
投資その他の資産合計	14,121	15,041
固定資産合計	45,400	47,695
資産合計	103,045	111,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,020	10,314
短期借入金	19,950	22,347
未払法人税等	1,486	1,214
賞与引当金	1,196	1,248
資産除去債務	2	2
その他	12,880	13,516
流動負債合計	45,536	48,644
固定負債		
長期借入金	8,514	10,609
債務保証損失引当金	—	870
退職給付に係る負債	6,598	6,464
資産除去債務	183	187
その他	1,940	1,937
固定負債合計	17,236	20,069
負債合計	62,773	68,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	32,862	35,482
自己株式	△2,929	△2,930
株主資本合計	37,015	39,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,716	2,866
土地再評価差額金	867	863
為替換算調整勘定	△11	30
退職給付に係る調整累計額	△314	△284
その他の包括利益累計額合計	3,257	3,475
純資産合計	40,272	43,109
負債純資産合計	103,045	111,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	72,158	73,672
売上原価	41,864	42,569
売上総利益	30,294	31,103
販売費及び一般管理費		
販売促進費	15,709	16,197
その他	10,813	10,945
販売費及び一般管理費合計	26,523	27,142
営業利益	3,771	3,960
営業外収益		
受取利息	28	0
受取配当金	81	88
不動産賃貸料	19	20
為替差益	1	37
その他	116	116
営業外収益合計	246	262
営業外費用		
支払利息	273	252
その他	36	12
営業外費用合計	309	265
経常利益	3,708	3,957
特別利益		
固定資産売却益	123	3
貸倒引当金戻入額	—	870
その他	0	110
特別利益合計	124	984
特別損失		
固定資産除却損	15	42
債務保証損失引当金繰入額	—	870
その他	88	1
特別損失合計	104	914
税金等調整前四半期純利益	3,728	4,027
法人税、住民税及び事業税	1,265	1,124
法人税等調整額	15	33
法人税等合計	1,281	1,157
四半期純利益	2,447	2,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,447	2,870

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	2,447	2,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344	150
為替換算調整勘定	3	41
退職給付に係る調整額	35	30
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	382	222
四半期包括利益	2,829	3,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,829	3,092
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,728	4,027
減価償却費	1,547	1,630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	429	△1,106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	52
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	870
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△65	△90
受取利息及び受取配当金	△109	△89
支払利息	273	252
固定資産売却損益 (△は益)	△40	△3
固定資産除却損	15	42
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,755	△3,029
たな卸資産の増減額 (△は増加)	94	11
その他の資産の増減額 (△は増加)	140	264
固定化営業債権の増減額 (△は増加)	△3,837	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	32	293
その他の負債の増減額 (△は減少)	390	164
その他	2	△98
小計	△1,141	3,191
利息及び配当金の受取額	109	89
利息の支払額	△286	△266
法人税等の支払額	△1,568	△1,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,887	1,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,626	△2,252
有形固定資産の売却による収入	255	16
無形固定資産の取得による支出	△108	△194
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	123
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	1,050	—
長期貸付けによる支出	—	△400
長期貸付金の回収による収入	1,550	—
その他	△7	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,112	△2,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,830	5,400
長期借入れによる収入	2,755	3,800
長期借入金の返済による支出	△3,709	△4,707
配当金の支払額	△221	△253
その他	△132	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,522	4,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△248	3,048
現金及び現金同等物の期首残高	17,269	17,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,021	20,731

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,257	9,901	72,158	—	72,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,257	9,901	72,158	—	72,158
セグメント利益又は 損失(△)	3,778	△28	3,749	22	3,771

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額22百万円は、セグメント間取引消去22百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,352	10,320	73,672	—	73,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,352	10,320	73,672	—	73,672
セグメント利益又は 損失(△)	4,070	△131	3,939	20	3,960

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額20百万円は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	62,257	63,352	1,095	
スパイス&ハーブ	13,009	13,085	75	シーズニングスパイス (増加)
即席	17,002	16,749	△252	即席カレー (減少)
香辛調味料	17,289	18,365	1,076	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	14,955	15,152	196	レトルトカレー (増加)
調理済食品	9,901	10,320	418	調理麺 (増加)
計	72,158	73,672	1,513	